

# 「地域活性化」と「PRの推進」で都城を盛り上げる!

令和元年度当初予算の中から特色のある事業を紹介する連載企画「令和元年度予算 重要施策の推進!」。今月は、「地域の活性化」と「肉と焼酎のふるさと・都城」の対外的PRの更なる推進について特集します。

◎問い合わせ 秘書広報課 ☎23-3174



各地域を活性化することで  
「都城」が元気に!

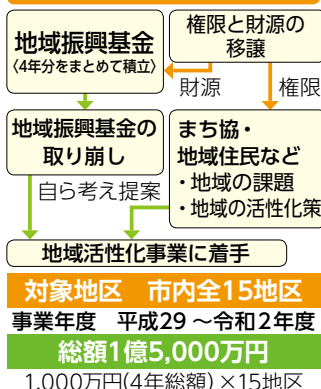
## 地域活性化事業

予算額 2,867万円

(令和元年度実施分)

各地区の住民が主体となった、地区の課題解決や活性化などのための取り組みに補助金を交付し、まちづくりを支援します。

### 事業の仕組み



### 今年度の主な事業

今年度、市内15地区のうち11地区で、29事業が予定されています。

● 都城島津灯ろう祭り賑わい創出事業 (姫城地区)

地区内の神社の六月灯に併せ、都城島津灯ろう祭りを初開催。

● 史跡等写真集製作事業 (姫城地区)

● こけない体操支援事業 (小松原地区)

● ふるさと再発見事業 (小松原地区)

● スマイルカフェ祝吉事業

● 今町依おどり伝承事業 (五十市地区)

● 地域安全パトロール隊の充実を図る事業 (横市地区)

● 地域の歴史を伝承する事業 (横市地区)

● イベント環境整備事業 (沖水地区)

● 安心安全なまちづくり推進事業 (志和池地区)

● 見守り隊ベスト作製事業 (庄内地区)

● 有害鳥獣対策事業 (庄内地区)

● 花木あげ馬保存伝承事業 (山之口地区)

● 平和講演会事業 (山之口地区)

戦争を知らない世代に、戦争の悲惨さや、平和と命の大切さを学ぶ平和講演会を開催。

● 石川理紀之助交流事業 (山田地区)

● 山田地区広報誌発行事業

● タイムカプセル開封記念事業 (高崎地区)

旧高崎町の町制施行50周年記念に埋設したタイムカプセルの開封を記念する事業を実施。

● 高崎地区縁結び促進事業

● 自治公民館連携強化事業 (高崎地区)

地域おこし協力隊活用事業

予算額 1、974万円

市外の人材を活用し、外部の視点から地域の課題解決や活性化に取り組む「地域おこし協力隊制度」。今年度、新たに隊員2人が加わり、本市の実態に即した活性化をさらに推進します。

【隊員の主な活動(8月現在)】

●婚活支援活動

市では、急速な少子化の進行に対応するため、出会いから結婚・妊娠・出産・子育てまでの「切れ目のない支援」を行っています。

その中で、隊員の西山久瑠美くろみさんが、婚活イベントの支援や婚活情報発信などに取り組んでいます。

市の婚活支援は着実に実を結び、これまでの婚活イベントで180組以上のカップルが誕生し、9組からうれしい成婚の報告を受けています。



婚活支援の企画を立案する西山さん

●特産加工品の研究開発など

高崎大牟田農産加工センター(高崎町大牟田)の経営改善や担い手育成、新しい特産加工品の研究・開発などに取り組んでいます。昨年度は、隊員の大内康勢やすなりさんが、高崎町産の食材を使った「粉末椎茸」や「高崎もち米肉焼売シューマイ」を開発。好評を得ています。



大内さんが開発した新商品

●活動

●リノベーションなどのまちづくり

タウンマネージャーと連携しながら、まちなかの空き店舗などを活用したリノベーションションまちづくりや、ちづくりや、商店街と連携したイベント支援などに取り組んでいます。



多くの来場者でにぎわった千日七夕まつり

●温泉施設などを活用した地域振興活動(新規)

●移住・定住促進活動(新規)

4月から新隊員として活動しています!



インタビュー

温泉施設などを活用した地域振興活動に取り組む

鹿島 鉄平さん

関東の大学を卒業後、そのまま関東のスポーツ用品メーカーで働いていましたが、地元都城に戻りたいという思いが強くなり、地域おこし協力隊に応募しました。現在、市内にある公設の温泉施設を活用した地域活性化に取り組んでいます。

施設の良さをしっかりとPRしながら、前職の経験を生かして、新規の利用者を増やすさまざまな企画を考えていきたいと思っています。

／ よろしくお願ひします! ／

移住・定住促進活動に取り組む

末永 ちほみさん

日向市出身の私は、都城在住の友人が多いこともあり、都城出身の夫との結婚を機に、地域おこし協力隊に応募しました。

子育てしやすい環境や、安くておいしい食材など、多くの魅力がある都城。移住者の私だからこそ実感できる都城の魅力を、移住希望者に発信していきたいです。併せて、移住後の生活のアドバイスにも力を入れ、移住相談の強化も図っていきたくと思っています。





# 肉と焼酎のふるさと・都城の 対外的PRの更なる推進！

**都城の魅力を  
強みに発信！**

対外的PRツールとして活用している「ふるさと納税」のほか、オンラインショップやファンクラブなど、さまざまな媒体を活用して、より一層、「肉と焼酎のふるさと・都城」の魅力を全国にPRします。

## ふるさと納税推進事業

予算額 34億9、383万円

ふるさと納税で本市に寄附をしていただいている市外の人に、「肉と焼酎のふるさと・都城」に特化した特産品を贈呈。ふるさと納税を対外的PRツールとして活用しながら、本市の地場産業の振興につなげます。

- 返礼品の内容とPR手段の充実

特産品の供給体制を確保するとともに、ニーズを踏まえた魅力ある返礼品を取り揃えます。また、都市部で感謝祭を開催するなど、本市のふるさと納税を推進します。

## 「肉と焼酎のふるさと・都城」 推進事業

予算額 2、224万円

東京モノレールやJR博多駅構内、天神地下街などに看板やポスターを掲示し、旅行者や都市圏在住者に本市の魅力を発信。知名度の一層の向上を図ります。



東京モノレール企画電車でPR

## 都市公式オンラインショップ 運営事業

予算額 1、080万円

市公式オンラインショップ「極上！みやこのじょう！」で、本市の優れた特産品を全国の消費者に直接販売し、本市の物産振興を図ります。



## 都市ファンクラブ運営事業

予算額 535万円

ふるさと納税などで「都城を選んでいただいた人」をしっかりとつなぎとめ、これからも「選んでもらう」ため、「都市ファンクラブ」を開設。会員向けサービスや情報発信を充実させることで、本市の物産や観光のさらなる拡大を図ります。

## トピック

### 「道の駅」都城を リニューアル！

#### 物産振興拠点施設整備事業 予算額 5,302万円

「肉と焼酎のふるさと・都城」の新たなランドマークとして、今年度から令和3年度にかけて「道の駅」都城を大幅にリニューアルし、物産振興と交流人口の拡大による地域活性化を目指します。

今年度は、新施設の整備基本計画をつくり、運営組織の設立準備を進めます。





インタビュー



都城市観光プロモーター  
(ANAの地域駐在型社員)  
ひかり  
**東園 妃佳里**さん

観光プロモーターに就任した当初からMTを担当し、県外の旅行業者などにMTを紹介する

ため、全国各地に営業しています。

昨年度は、全日本空輸(株)(ANA)の社員を対象に、モニターツアーを実施。その意見を生かしながら、都城の魅力を感じられる体験型プログラムを考案しました。推進委員会の皆さんの協力もあり、MTツアー参加者が、53人(平成29年度)から455人(平成30年度)に増加し、認知度が徐々に増えていると実感します。

これからも、MTの認知度を高め、全国の人に都城の魅力を知ってもらえるようにがんばりたいです。

ふるさと納税日本一に輝いた都城の誇る「肉と焼酎」を観光の目玉に

ミートツーリズム推進事業

予算額 3、386万円

「都城を知ってもらい、関心を持ってもらう」ための対外的PRを積極的に推進することで、次のステージ「都城へ来てもらう」ための取り組みを強力に展開。観光誘客や交流人口の拡大を積極的に促します。

「知ってもらおう」は  
次のステージ  
「来てもらう」へ

据え、観光客に都城へ足を運んでもらうことで、meat「肉と焼酎」にmeet「出会うこと」のできる滞在型旅行企画「ミートツーリズム(以下…MT)」。MTを満喫できるツアーを企画・実施する旅行業者に対して補助金を交付したり、SNSを活用したプロモーションを展開したりすることで、MTを強力に推進します。

観光力強化推進事業

予算額 1、899万円

本市への国内外からの観光誘客を促進するため、観光分野に精通したプロフェッショナル人材「観光イノベーター」を全国から公募し、配置。新たな観光戦略を推進します。

また、本市の代表的な自然景勝

地で、日本の滝100選にも選ばれている「関之尾滝」とその周辺を、観光の目玉施設として位置付け、大胆なりニューアルを図ります。



インバウンド対策事業

予算額 457万円

日本に訪れる外国人観光客(インバウンド)に着目。本市では、旅行客数が最も多い台湾をメインターゲットに、旅行関係者へのトップセールスを実施したり、外国人観光客に対応した体験型コンテンツを発掘したりすることで、観光誘客の拡大を図ります。

合宿誘致推進対策

予算額 2、542万円

プロスポーツチームへの積極的なキャンプ誘致のほか、アマチュアのスポーツ・文化団体の合宿を支援することで、地域活性化につなげます。本市の合宿誘致団体数は年々伸び、21団体(平成24年度)から166団体(平成30年度)に増加しています。